



ゆかれいもの  
な~~ん~~でもな~~い~~日常

成人向



**AmBiVaLenZ**

*Harth Nir*  
since 1999



ゆか  
な  
なんでも  
な  
い  
む  
の  
目  
常

——或る日の博麗神社にて。

「異変解決を仕舞うする巫女・博麗霊夢は、朝餉を食へ終る。ちやみちの前の出廻しのお茶を飲んでいた。さうして彼女の目の前に、おぼろげな顔の裂け目が広がった。かと思ふと、その中から妙齡の女性が発現した。」

「ほお、霊夢〜。今日も遊んで来たわね〜。さうな怪異に遭遇しても霊夢は動いず、薄いお茶を飲み干した後、呆れた目線が相手に向かう。」

「……なんだ、紫じゃないの。今日は何の用かよ」

「神出鬼没の大妖怪、八雲紫。」

「稀代の管理職者、妖怪の賢者として名の知れた彼女であるが、また一大で霊夢のおまじない師者、保護者としての一面も持っている。」

「これならわねえ、せいかく私が遊んで来たってこの山に、あーだだ遊んで来たってさうな人が起らないのよ。」

「……うん、うん、さういふ期待はしないわねえと云うかよ。」

「田舎を遊んで霊夢の肩に、紫は上から覆い被さる。ふわりと、花のちやみちが霊夢の鼻孔に侵入する。」

「お、お、お、お、お……」

「お、お、お、お、お……」

「お、お、お、お、お……」

「お、お、お、お、お……」

「お、お、お、お、お……」

「お、お、お、お、お……」

「お、お、お、お、お……」

「お、お、お、お、お……」

「お、お、お、お、お……」

「お、お、お、お、お……」

「お、お、お、お、お……」



# 女ももな

「やああああ」♡ や、紫♡ オキンの先っ、指先く  
りくりりくり撫で回さないでねえっ♡ オ、おおああ♡  
きついっ、きついっ♡ 少女キンポルポキ♡  
スカートの上から指先で撫で回されて、あっ、あっ♡  
びんごう♡ 恥かしいキンポ結界を紫の指にからかわ  
れてっ♡ きついっ、おっ♡  
「ほんじんわりとスカートに艶夢の少女エロマリ先汁が染み  
出て来ちゃったわねえ♡ 期待汁♡ 博麗霊夢のキンポ期待  
汁♡ 気持ち良くなりたくてっ♡ が、ない、性欲が千々千  
に困った妹したくない少女ポッキ♡ うっひひひ」  
「あ、あ、紫っ……♡ 恥かしいっ、い、言わ  
ないでねえっ……♡ <shyness>……♡」

「あんなに表情をよれを拒絶した艶夢であったが、口接のまじ  
らな顔が海女のしなやかな快活だ、次第に興奮がますます、  
紫の指先で指先を撫でた」  
「あんなに……♡ 何だかたまらなくなっ、さっしと受付  
くっ、おっ♡ 博麗のキンポ少女を♡」  
「あんなに……♡」  
「あんなに……♡」  
「あんなに……♡」  
「あんなに……♡」  
「あんなに……♡」  
「あんなに……♡」  
「あんなに……♡」





「どうも言いたがり、自分から千んぽを私の唇に押しつけてきた  
……放つておいたワイルドマキオをせめておくれオニオ  
ニオ♡ 霊夢ちゃんのお尻をえんじりしちゃう千んぽ姉さん♡ ニ  
ンガ♡ お尻をえんじりしちゃう千んぽ姉さん♡  
くさくさ霊夢ちゃんから紫がでる言えぬ、霊夢はこの世の終わ  
りか来たかのおうな顔で尻根を寄せる。  
「え〜えんじり〜……♡ そんなあつ、酷いじ〜♡ 今更  
そんなの、残酷なあつ……千んぽに残酷っ♡ や、や、や、  
や、紫っ♡ 何でも、何でも、何でもやるからあおまっ♡  
あしや尻りい……♡ しこええ♡ 霊夢の千んぽをホッキキ  
せた責任取っておあつ……♡ 私をこんなドストクバな千んぽや  
クマ狂い巫女に謝教した責任、取りなさいおあおあつ♡」

ぽんぞ



















「えっ、つまり、あなたのスレハ欲望の具現化……」  
 「その手は私のものでなく、この欲の手は私のものでなく、聞  
 きませが、それぞれ別の意志を持っていますわ。だから、  
 人の意志では難しい複雑怪奇な責め方が可能と……ああ、  
 講義の時間はこれまで。実際に味わっていたら幸いです……♡」

話を打ち切り、紫は怯える無夢に手のひらを向ける。と、  
 欲の手は一齐に無夢に目掛けて飛びついた。  
 「ひいっ……？」 ちゃっ、 やめてっ……「こいつら結構力が強い  
 の、あつ、あつあつあつ♡ やせあつ、こんな格好い  
 ヤマヤマ♡」

なみでもた









理性が破壊したその表情を眺み、快感を享受する悪夢。  
それを思い出していた紫も、さりさりとお股を擦り合わせる。  
「うん……悪夢……お股を擦り合わせる……」  
「うん……悪夢……お股を擦り合わせる……」

わ、私も

「うん……悪夢……お股を擦り合わせる……」  
紫の感情を敏感に察知した紫の手が、悪夢に引き込まれていく。  
「うん……悪夢……お股を擦り合わせる……」  
紫の胸を突き刺さるような感覚が、紫の手を止めた。  
「うん……悪夢……お股を擦り合わせる……」  
紫の胸を突き刺さるような感覚が、紫の手を止めた。  
「うん……悪夢……お股を擦り合わせる……」



妹はもてかへに苦悶の表情を浮かべ、彼の手に向かふこと  
 決。

千んぽっ、千んぽおおおおっ、千んぽも飽きたおおおおっ  
 お願ひせかり千んぽっ、おねえ千んぽおおおおっ、尻っ  
 して千んぽだけ放擲するのうな危地難さるのおおおおおっ、ゆ  
 かりんのムラムラムキんぽキんぽキんぽ、限界に前なの、オオオ  
 康らさるまで気が狂っちゃらう、千んぽ何とかして  
 何とかしてエエエ、あっ、あーっ、もうダメ、  
 我慢できなくて振振っちゃらう、尻を捻るに足すて千んぽ  
 かつかんかつと振っちゃらう、誇りを捨てて足すて千んぽ  
 振り振り、姉の媚を千んぽが承けてやらう、セッテッの  
 脂キんたまを無様に捻りつけてエエ、恥かき覚悟で射精のおお  
 たりちやうどのおおおおっ、はああああ、恥かしいけれど千んぽ  
 千んぽ限界っ、エロ千んぽ限界、オオオ、千んぽ千んぽ千ん  
 ぽ千んぽなの、オオオ、私も靈夢みたいにいかにして入るええええっ



















「おおおおおおおっ ♥ 私モイクイクイク ♥ ひいひいイイ  
いいいいい ♥ 欲の手に田疋されて無様キンポに汗かきされ  
てっ、頭決っ母決っおアクマ来っんんんんん ♥ 陥  
落っ、陥落っ、大妖怪八雲紫が博識の巫女「アムセ  
クスマン」退治されて陥落さるのほおおおっ ♥ だっ、  
イクイクイクイク、私モキンポイキキキキ ♥ マンロ  
かれキンポイク ♥ キンタマから汗流すおキンポイ  
キキキキ ♥ っ私、一タミキキキキ  
カキキキキキキキ ♥ っ私、ムク初め  
オスマスの境界おかしなっちやっ、でも無様になっ  
いわっ、アムセ刺し、オスマス両方アムセせ  
アムセ変態ゆかりはアムセ、アムセの無様かかま  
てHHH ♥」



「おっちゃん、ほおっ……♡ あっちゃんの出されてへええ……♡  
あっちゃんの出してへええ……♡ セックス楽しいい♡  
イキまぎて生で死の境界壊れちゃっ……♡ 博麗  
セックス凄かったわあ……♡ あっちゃん、あはっ、まだ体  
中がイッてる♡ ああ、私が、私がアケマ漬けにされちゃっ  
たあ……♡ ゆかりんの悩ましム子ム子ボク、霊夢の千  
ンが絶頂漬けにされちゃったのあ……♡  
あ……♡ あほあ……♡ んっ、ふひひい……♡」














にゃわああ あああ 

も) 朝におちよあああ  
こんな時間まで起きるとかもう  
な"よああ!!


トニナカ!!


初例大祭  がはげしいこと  
な"ちか"て"して"

本"く"て"よ"か"た"●

見"く"れた"本"なた"へ   
あ"か"とう"ざ"ざ"ま"あ"☆



火田さしと  
ドーン"く"しまあ!  
はげしい"あ"せ!!  
み"ね" 

み"ね" 

原画：みさくらなんこ  
シナリオ：火田 (AmBiValenzi)

ソリ  
アイドユニット  
おっぱい  
おっぱい  
おっぱい

おっぱい  
おっぱい  
おっぱい  
おっぱい  
おっぱい

# ふたなり♡アイドル でかたま系

～私たちのえっちな「フルーツ」いっぱい撮ってね♡～

豪華スタッフで送る  
『変態タマゲー』登場!

白鳥沢みずほ

リコとアイドルユニット「スウィートフルーツ」を結成、おっとりとしたキャラクターはお嬢様育ちの天然もの。リコはいじめと称したセクハラを受けることでチンポの快感に目覚めていく。  
CV:ひむろゆり

松崎リコ

ファッション誌の人気読者モデルだったが、アイドル事務所から熱烈なラブコールを受けアイドルに。陰で努力を怠らないががんばりやさんだけど、ストレスはその巨タマにたまっていく...!  
CV:サトウユキ

## 2013年夏発売!!

ゆかれいもの  
なんでもないう日常

2013年5月26日 初版  
2013年6月4日 第二版発行  
発行 ハースニール

印刷：ニモ印刷様

<http://www.harthnir.com/>  
[koguma@harthnir.com](mailto:koguma@harthnir.com)

18歳未満の方の購読を禁じます  
無断転載を禁じます